

STGS

快適な田名部高校生活を維持
するための目標と行動

なぜ「新」田高マニュアル=STGSが存在するのか ～「新」田高マニュアルのコンセプト～
校訓

【自律】自分自身の行動に責任を持ち常に振り返りと適切な行動選択ができる人間を目指したい

【協和】周囲への配慮を意識し、全員が過ごしやすい環境づくりに貢献できる人間を目指したい

【純正】純粋で正しく、ありのままの姿が輝く人間を目指したい

校訓とは学校生活の指針であり、田高生としてのあるべき姿を示したものである。「新」田高マニュアルは校訓に基づき、私たち全員の学校生活について共通認識を図ることを目的としている。

具体的な目標や取り組みは以下の通り。なお、行事や校外活動時も常に同じ共通認識である。

【田高生の5Goals/14Actions】

～田高生5つの「目標」と目標達成に向けた14の「行動」～

★がついている項目は田名部高校として、特に重視したい項目です！！

Goal1: 清潔感のある整った服装・容儀を！

≪目的≫ 整った服装・容儀で清潔感を整えることは、周囲への印象につながり、良好な人間関係を築く第1歩となる。公の場で、適切な容儀に整える意識を持つようになろう。

★Action1. 制服は下記の着用のルールを守り、登下校時や職員室入室時は制服を着用する

Action2. 校章や学年章、ボタンが取れたときや制服が破れたときなどはすぐに直す

Action3. 化粧やアクセサリ等はつけず、つめやひげは伸ばさない

【男女共通】

着用のルール

- ・男子:左襟に校章、右襟に学年章。 女子:夏服時はネクタイ、冬服時はブレザーの左襟に校章
- ・学生服やスカートは加工しない。
- ・ワイシャツの下には色、柄が透けないものを着用する。ただし、本校指定のTシャツは許可する。
- ・ワイシャツやブレザーのボタンは外さずに、しっかりととめる。
- ・登下校時や職員室入室時は制服を着用することとし、部活動中や終了後については配慮する。
- ・天気や健康状態により、学校指定のセーターやベストを着用することができる。

【男子】

- ・ベルトは黒もしくは茶系統の簡素なものを着用する。

【女子】

- ・ネクタイはルーズにならないように結ぶ。 ・スカートの長さは膝の下端とする。
- ・夏服着用時または肌色のストッキングを着用する場合は、白色の靴下も着用する。冬季には黒色タイツも許可する。
- ・式典では、冬服着用時は黒色タイツ、夏服着用時はくるぶしが隠れる長さの白ソックスを着用する。

Goal2: “身だしなみ”としての頭髪を！

≪目的≫ 公の場ではその場にふさわしい周囲に不快感を与えない頭髪が求められている。個人の好き嫌いが表れる“おしゃれ”ではなく“身だしなみ”としての頭髪を目指そう。

- Action 4. 清潔・端正を旨とし、華美またはパーマネント、染髪などの奇異な髪型は禁止する
Action 5. 前髪は目にかからないようにする

Goal3: スマートフォンなどのICT機器に関するトラブルをゼロに！

(ICT機器とは「人とのコミュニケーションにおいて真価を発揮する情報通信技術を備えた機器」のことで「ゲームや娯楽」に主眼をおくものではない)

≪目的≫ 日常生活に欠かすことのできないICT機器を、時間の浪費や他者への非難のためではなく、自分と周囲の生活を豊かにするために有効に使いこなせる人になろう。

- Action 6. 校内に入る前に電源を切ってカバンにしまい、帰りのSHRまたは清掃当番の生徒は清掃終了後まで使用しない
Action 7. 校内で使用する際は保護者への連絡手段、または学習のために使用する
★Action 8. 放課後でも使用するとき以外はカバンにしまい、使用可能場所は教室内および風除室のみとする。通行の妨げとなり得る廊下や生徒玄関では使用せず、手に持ったまま歩くことや使用しながら歩くことは絶対にしない
★Action 9. 自分自身がトラブルの被害者にも加害者にもならないよう、自分自身の言動を、リアルの世界でもSNSの世界でも常に見つめなおす

Goal4: 交通ルールの遵守により自分の命も、周囲の命も大切に！

≪目的≫ 自分の行動によって、自分自身にも周囲の人々にも危険を及ぼすことがないようにしよう。

- Action 10. 自分と周囲の命を守るための交通ルール遵守、特に自転車の運転には注意する

～ 道路交通法が定める危険運転の例（一部）～

- ・ 信号無視
- ・ 指定場所の一時不停止
- ・ 制御装置（ブレーキ）不良自転車運転
- ・ 安全運転義務違反（イヤホン類の装着、無灯火、2人乗り、並走、傘差し運転等）
- ・ 妨害運転（「不必要な急ブレーキ」「ベルをしつこく鳴らす」等） ほか

Goal5: 社会生活のマナーを意識し、自律した生活を目指そう！

≪目的≫ 高校卒業後の長い人生を考え、みんなが生活しやすい環境を作るためのマナー遵守が求められる“社会人の1人”であることを意識しよう。

- Action 11. 朝は8：20までに各教室へ、また授業開始前には余裕をもって教室で着席し、時間を守る習慣を身につける
Action 12. 自分ではなく、相手に伝わるあいさつや返事を心がける
Action 13. 睡眠時間や食生活、運動習慣、病気やケガの予防など、心身の健康に関する自己管理力を身につける
Action 14. 自分自身の物を管理するとともに、公共の物や空間の利用の仕方を考える